

# 東だより

武蔵野東学園広報 第58号

2021年 9月30日発行

〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-10

TEL 0422-52-2211 (代) FAX 0422-53-1090

<https://www.musashino-higashi.org>

## 東京2020オリンピック・パラリンピック

高等専修学校校長 渡辺 正司

東京2020オリンピック・パラリンピックが幕を閉じました。新型コロナウイルス感染症の影響によって1年延期され、しかも直前に感染拡大による緊急事態宣言が発出された中での開催となりました。

開催について賛否両論ありましたが、競技が始まると、いつのまにか選手の競技する姿に皆が心を奪われ、夢中で応援していました。

私たちには想像のつかない状況の中で選手の皆さんは、並々ならぬ思いをもってこの大会に臨んでいたことでしょう。選手の皆さんに敬意を表します。

大会での日本人選手の活躍は目覚ましく、いくつもの感動と勇気を与えてくれました。とりわけ学園の卒業生の活躍は、大変うれしい出来事でした。体操女子種目別ゆかで銅メダルに輝いた村上茉愛さん。サッカー女子準々決勝までコマを進めた日本のエースストライカーである岩渕真奈さん。お二人の活躍は、学園にとっての誇りとなりました。

さて、この大会のビジョンとして、「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」の3つの基本コンセプトが掲げられていました。

その中で「多様性と調和」については「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする。」と謳われていました。

このコンセプトは、混合教育（インクルーシブ教育）を展開する武蔵野東学園の教育理念と相通じる部分です。オリンピック・パラリンピックが幕を閉じたこれからも、学園の混合教育（インクルーシブ教育）を社会につなげるべく、私たちはこの考えを積極的に発信していきます。そして、混合教育（インクルーシブ教育）の環境下で学ぶ本学園の子どもたちが、「共生社会」を実現するためのリーダーとなるよう育成していきます。

さらに、障がいのある人が分け隔てなく社会に参加していける「共生社会」を築くためには、障がいのある人が社会の中で働き、自立していくことが必要不可欠です。

国が定める障がいのある人の法定雇用率は本年3月1日に2.3%となり、今後も引き上げとになっていく予定です。しかし、この法定雇用率を達成できている企業は48.6%（厚生労働省による2020年の障害者雇用状況の集計結果から）と半数に満たないという調査結果があります。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響によって、障がいのある人が解雇される、求人が減るなどの厳しい現実もあります。

本学園高等専修学校から社会に送り出した障がいのある卒業生は、1,156名（2021年4月1日現在）になりました。多くの企業・福祉事業所、行政関係の皆様とご縁をいただき、お陰をもちまして、安定した就労生活を送ることができるようになりました。職場の皆様は障がいという個性を理解していただき、必要としていただいているからこそと感謝いたします。そして、これまでの積み重ねによって、新たな企業・福祉事業、行政関係の皆様と新たなご縁をいただけるようになってきました。

社会全体から見ますと本学園の取り組みはまだまだ小さなものかもしれませんが、地域社会の中で障がいのある人が当たり前のように働き、暮らしている、そんな時が来ることを目指して、本学園は、先導校として混合教育（インクルーシブ教育）を推進し、共生社会実現促進の一助となれるようこれからも取り組んでいきます。

# 幼稚園

## かけがえのない日常を大切に

2021年4月、春の日差しに包まれた園庭で『第57回入園式』が行われました。ご家族の方と先生たちの温かい笑顔に見守られ、穏やかな雰囲気の中で思い出の一日になりました。4月末には年少保育参観を3日間に分散して実施、保護者の方と一緒にこのぼりを作って楽しみました。



4月/入園式

5月の運動会では、密にならないように2部制で実施。プログラムも工夫しての開催でした。一緒に身体を動かす機会も限られる中でしたので、子供たちが大好きな体操やダンスは、ご家庭でもご家族の方と取り組めるように動画を作成、配信をしました。かけっこや玉入れ、そして年長リレーの



取り組みでは今年も様々なドラマが生まれ、体を動かす楽しさを味わう行事になりました。

運動会が終わると年長さんはみんなで話し合っ、一つの大きな作品(みんなで遊べるものをテーマに)を制作しました。『サマーアドベンチャーツアー2021』の日にホールに持ち寄り、まるでテーマパークのようなあそび場を作りました。何を作るのか、どうやって作るのか、どうやって協力するのか、制作過程での葛藤や小さな達成感の積み重ねは、子供たちの大事な成長につながりました。



9月/わくわくまつり

7月/サマーアドベンチャーツアー 夏休み前の『きらきら☆まつり2021』では、年中さんの親子と一緒に、各保育室に用意されたアクティビティ(的当て、和紙染め、手形、アスレチック等)を楽しみました。さらに夏休み明けには、年長れんげ組さんの『わくわくまつり(秋の夕涼み会)』を実施し、公園の散策や子供たちの手作りお化けが勢ぞろいした“ようちえんのおばけやしき”で、楽しいひと時を過ごしました。

保護者のご理解とお支えの中で、保育を止めることなくあたりまえの日常を過ごしていくことが、子供たちの育ちにおいてなによりも大切であることをあらためて実感しています。引き続き緊張した日々が続いていきますが、予防を徹底しながら保育の取り組み方を工夫して、一人一人の成長に寄り添っていきたいと思います。

## ICT機器を活用した保育と保護者会

新型コロナの対応で登園を控えられた場合は、ICT機器を活用してご家庭とオンラインで繋がる取り組みを積極的に進めています。



5月/レッツ/父親研修会

タブレット越しにクラスの集まりや話し合いに参加したり、専科の先生と一緒に歌や体操の活動を楽しんだり、保育後に担任の先生と話をしたりして、ご家庭にいても幼稚園とつながっていることは、子供にとっても安心です。

保護者会も感染症拡大に伴って、オンラインで開催しました。保護者同士、懇親する機会もなかなか持てないこともあり、5月の父親研修会、2学期はじめの保護者会ではトークルーム機能を使って、保護者同士の懇親を深める機会も持ちました。さらに保護者研修会では、リアルとオンラインを併用してのワークショップを行い、保護者の皆様と一緒に充実した学びの機会を持つことができました。



9月/保護者研修会

今後もICT機器を積極的に活用していきます。

## ◇ 夏の改修工事(第二幼稚園)

夏休みに、第二幼稚園のロビーを広げ、保健室を園庭側に移設、そして職員室の改修工事を行いました。ロビー周りに広がりができ、預かり保育の子供たちや課外教室の送迎、そして保護者の皆様の活動の場所として、使いやすくなりました。園庭から直接アクセスできるようになった保健室は、ケガの対応もより迅速になり、温水シャワーも設置されたことで泥だらけになっても安心です。



## ◇ 保育情報誌に本園の取り組みが掲載されました!



『新・幼児と保育』(小学館:0歳児からの保育専門誌)に、インクルーシブ保育を支える環境・仕組みの視点から、長年実践している園として、幼稚園の取り組みが掲載されました。



## 小 学 校

## 「教科の枠を越えた学び」「iPadの活用」

今年度のAB組では「教科の枠を越えた学び」を教育の重点とし、学年ごと設定したテーマに沿って、教科横断的な学びを行い、考えを深めています。例えば、5年生では、「エネルギーと世界環境の変化」をテーマに学習を進めています。算数の授業で一人当たりの二酸化炭素の排出量を求めて、表やグラフに表し、そこから読み取れることを社会科の授業で考えながら、自分たちにできることは何であるかをSDGsの観点も交えながら話し合っていました。

また、ICT教育環境が充実し、iPadを活用した学習を様々な教科で行っています。AB組では、一人一研究の発表でKeynoteを使ったり、国語の授業ではJamboardというアプリを活用して意見の共有をしたりと、自分の考えをまとめたり、表現したりするアウトプットのツールとして欠かせないものになっています。CDE組では、植物の観察記録をまとめたり、調べ学習をしたり、写真付きの季節のお便りの作成も行いました。今後も各学年において様々な活動や学習においてiPadを活用し、学びを深めていきます。



横断的な学習



チロル学園紹介

Keynoteの活用

## “届けよう、服のチカラ” プロジェクト

4年生の児童の取り組みとして「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」に参加しました。これは、AB組の教育の重点である《3Rから5R時代へ》の学習の一環として、着なくなった服を回収して、服がなくて困っている海外の難民の子どもたちに送ろうというプロジェクトになります。このプロジェクトの主催は、ユニクロやGUでお馴染みの「ファーストリテイリング」で、2013年から社会貢献活動として行われています。



出張授業

2021年5月15日には、ユニクロ吉祥寺店の店長さんが来校し、出張授業をしてもらいました。SDGs(持続可能な開発目標)に対して企業としての取り組みや、世界には難民として避難生活を送っている人が7,950万人以上いることや、その難民の半数が子どもで着るものがなくて困っていることなどについて学びました。そして、その難民の子どもたちに服を届けるため、4年AB組の児童がプロジェクトを組み、保護者や全校児童に、動画やポスターで服の回収の必要性をPRしたり、回収ブースを設けて当番制で服の回収をしたり、そして集まった服を分類してユニクロに発送準備をしたりと大活躍でした。この活動を通して、5Rについての理解を深めたばかりではなく、世界情勢に目が向いたり、社会貢献活動を実体験することができました。

## 東館改修工事

夏休みには、東館の工事が行われました。資料室だった2階を英語室として改修。英語室が3つになり、それぞれ「E-Root(根)」「E-Stem(幹)」「E-Leaf(葉)」と名付け、「東からのぼる太陽」の光を浴びて成長する「植物」をイメージし、東学園の環境で成長する「子どもたち」という思いを込めました。2階の英語室は1つの教室として広く使うことができ、授業内容によって使い方の幅も広がります。また、東館の外観もイメージが変わりました。外階段はオレンジ、らせん階段はグリーンとなり、英語室のネーミングとマッチしています。



新しくなった2階英語室

オレンジの外階段

## 中 学 校

## SDGs Day 開催

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年を達成期限として取り組まれている地球規模の課題です。中学校では昨年度の友愛会(生徒会)組織の改編以来、有志によるSDGsプロジェクトが活動しています。今年度は全校生徒でSDGsについて知り、考える、SDGsDayを2回設けました。以下は7月のSDGsDayの催しの様子です。

催しの前半はプロジェクトの生徒たちが進行役となり、SDGsの基礎知識についてのクイズ、生徒によるエシカル消費やSDGsの実践例についての発表を行いました。この日は学校でのSDGs活動を推進されている読売新聞社の田中孝宏氏に來校いただき、後半に『「じぶんごと」からはじめよう』というテーマで講演をいただきました。その中で、17の目標をすぐにできる「じぶんごと」、よく知ることできそうな「にほんごと」、まずは知っておくだけでもよい「ちきゅうごと」、という3つの段階に分ける考え方が話され、生徒たちの心に残る言葉となりました。さらに自分でできる事を実践してその意味をメッセージにつなげることや、SDGsを実践している企業のとりくみなどについて、具体的な活動方法についても話していただきました。生徒たちの意識が「じぶんごと」へと大きく変化したことを強く感じる一日となりました。

田中氏と生徒とのやり取りの中で、電気自動車が話題になり、「全部が電気自動車に代わってしまったら、ガソリン車に関わる産業の人々の仕事はなくなってしまいますよね」という言葉があり、「ハッとした」という感想を述べていた生徒がいました。相反する点の解決が難しいということについて気づけたのは、中学生として意味のあることでした。



## “スタジオイースト” 開局

## 部活動 夏休み中の活躍

生徒が発想豊かにいろいろな発信をしたり、授業などで活用したりすることを期待して小スタジオが完成しました。小さいながらカメラやモニターをはじめ、専用の照明もある、本格派のスタジオです。

今までの全校生徒での集まりも、各教室に映し出される映像をライブ視聴する形で実施することができます。

友愛会の各委員会からの発信も行っています。最近では、近づくスポーツ大会に向けての取り組みをスポーツ推進委員会から、図書室の利用について学校生活推進委員会から、部活や委員会の情報を共有する「みんなの掲示板」という新しい企画についてPR委員会から、全校生徒にスタジオより情報発信がありました。

今後さらに魅力的な活動がこのスタジオから生まれていくことを期待しています。

新型コロナウイルス感染者数増の影響を受け、昨年度に続き夏の多くの大会が中止となりましたが、開催された大会での活躍から、主なものを紹介します。

ダンス部が第73回東京都中学校創作ダンスコンクールに出場し、作品『運命の扉』で第1位(2年連続7回目)、第51回東京都中学校ダンス選手権大会では、既成作品『カノン』で第1位(16年連続26回目)を受賞しました。※両大会とも昨年度は中止

陸上競技部では、3年女子が第49回関東中学校陸上競技選手権大会(埼玉県)に出場し、100mハードルに出場して総合9位、さらに第48回全日本中学校陸上競技選手権大会(茨城)に出場し、同じく100mハードルで、全国16位というすばらしい結果を残しました。

また卓球部は、第49回関東中学校卓球大会(東京)で、3年女子がシングルスに出場を果たしました。



### 高等専修学校

## 「目指せ〇〇〇」チャレンジ

今年度、本校の魅力発信の一環として、「目指せ〇〇〇」イベント・コンテストへの挑戦!として、専門教科を中心に新しいことに積極的な取り組みを行っています。ここでは、「目指せコンクール入賞!」として、チャレンジした二つの取り組みをご紹介します。一つ



出品した生徒の作品  
「ブッシュドノエル」

目は絵画コース。今迄も個人的にコンクール等に出品していた生徒はいますが、新たにコースとして「高校生国際美術展」に応募しました。また、調理・製菓コースでは、「高校生スイーツコンテスト」に参加しました。両コースの生徒とも、思いの詰まった作品を送り出しましたが、どちらも入賞には至りませんでした。1,2年生からは、「来年こそは」という声が聞かれます。尚、絵画コースは、第2弾として「全日本高校デザイン・イラスト展」に応募しています。これからもチャレンジは続きます。



出品した生徒の作品  
「東京に巨大カメちゃん現る」

## 第31回全国高等専修学校体育大会



2年連続優勝した  
スポーツウエルネス吹矢

今年も山梨県富士吉田市の富士北麓公園を会場に、8月25日(水)~26日(木)の2日間、全国高等専修学校体育大会が、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮し、無観客で開催されました。今年も、東京オリンピック、パラリンピックも開催され、全国から集まった選手たちにより、例年以上に各競技熱戦が繰り広げられました。本校からも、陸上部、卓球部、野球部に所属する生徒が、陸上競技、駅伝競走、卓球、軟式野球、自転車競技、スポーツウエルネス吹矢に出場しました。結果、駅伝競走は、27回大会以来4年ぶり、また、スポーツウエルネス吹矢は2年連続の団体優勝を果たし、今年も2本の優勝旗を持ち帰ることができました。惜しくも入賞を逃した選手もいましたが、学校に戻ってきた際の、生徒一人ひとりの充実した様子は、コロナ禍で色々なことが制約される中、開催されたこの大会に参加できた喜びが湧き出ているようでした。



4年ぶり優勝の駅伝競走(陸上部)

## いよいよ1人1台端末

『新たな教育の技術革新は、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるもの』(文部科学大臣メッセージより)いわゆる「GIGAスクール構想」ですが、いよいよ本校にもその環境が整いました。校内におけるWi-Fi環境の増強を行い、全生徒に1台のキーボードカバー付きのiPadとその保管庫を整備しました。これで、今まで以上に気軽にICT機器に触れることができるようになります。授業やホームルーム、進路活動、部活動、余暇活動にと、様々な場面で活用していきます。



iPadに向かう生徒たち

## 今年度の大規模リニューアル工事



リニューアルされた  
講堂の床面

夏休みを利用して、地下講堂の床が全面リニューアルされました。今までの講堂床面は木材でしたが、弾性のあるシートに一新され、素晴らしいスポーツフロアへと生まれ変わりました。表面の柄はウッド調であり、大変落ち着いた柄です。実際に使用してみると、適度なクッション性があり、スポーツ時の足への負担も軽減されます。スポーツに、集会に、式典に、大切に、また、有意義に活用していきます。

教育センター

サマープログラム(8月11日~15日)

今年のサマープログラムは、感染症予防の理由により、開催時間を従来の約半分に短縮して実施しました。

年中児は、夏に関連したものの制作や言葉について学びました。年長児は、南の島のハメハメハ大王をテーマに、クレヨンやのり、ハサミを使って、大王の顔やフルーツバスケットを作りました。

小学生以上は「日本について知ろう」を共通テーマとして、1年生から4年生は、国語で四季のある日本ならではの季節行事や植物・生き物・食べ物について学びました。5・6年生はインターネットで日本の名所を旅行する計画を立て、ガイドブックを作成しました。算数では生活の中で活かすことのできる時間や時刻について学習しました。中学生は、日本各地の気候や特色、特産物などを学びパソコンでスライドにまとめました。美術は、武蔵野東中学校の先生に『コラージュアート ~日本の夏~』を指導してもらいました。多くの作業工程が含まれていましたが、中学生らしく集中して取り組み、見ごたえのある作品が完成しました。



1年生の国語の授業



『コラージュアート ~日本の夏~』

自転車教室・縄跳び教室

子どもたちの夏休みが少しでも充実したものとなるよう、5日間の自転車教室と縄跳び教室を開講しました。自転車教室は、独自のメソッドによって補助輪なしで走行できるようになることを目指します。過去に三輪車も補助付きの自転車も乗れた経験がないという高学年の子どもでも、5日目には自分で自転車を操り、風を切って走る楽しさを体験できるようになります。早い段階で校庭の周回乗りや漕ぎ出し、ブレーキ操作などができるようになった子どもには、武蔵野中央公園での実地練習も行います。

縄跳び教室は、個々の状態に応じて目標を決めて練習していきます。両足を揃えて連続で跳躍することが苦手だったり、跳躍に合わせて肩や肘、手首の回旋を行うことができなかったりと、つまずき方も様々です。担当スタッフが子どもたちの状態を専門的に見極め、独自の練習方法や教具の工夫によって目標を達成させていきます。家電用の配線結束チューブを縄跳びに巻いて縄が絡みにくくする工夫をはじめ、動作が理解しやすいように擬態語にして伝えることや、縄跳びを動作ごとに分解して練習する方法など、個に応じたアプローチを研究しています。今回も「初めて連続で跳ぶことができた!」など嬉しい報告がありました。



風を切って走る爽快感は格別です!



いろいろな縄跳びを用意しています

中高生向けファミリーデー

9月25日に、中高生向けのファミリーデーが開催されました。今回は、10組の親子がステンドグラスのオーナメント制作を楽しみました。講師は、学園の保護者OBでもあり、ご自身でアトリエを主催するプロのステンドグラスアーティストです。実施に際しては、参加者間のスペースをしっかりと取り、換気や消毒などコロナウィルス感染症対策を万全に行いました。

制作工程はかなり本格的で、はんだごてと銅製のテープを使い、色とりどりのガラス片を下絵に沿って成形して行きます。今回は全員が初心者でしたが、アトリエの皆さんがとても丁寧に指導してくださいました。初めは慣れない手つきだったはんだづけの作業も、だんだんと要領をつかみ、あちらこちらから「いいねー!」の声が聞こえるようになりました。作品は、モチーフだけでなく、ガラスの色柄や構成によって制作者の個性が表現でき、文字通り世界で1つだけのオリジナル作品が完成しました。出来上がった作品を互いに鑑賞し合い、ファミリーデーの目的である家族間の交流を深めることができました。



世界に1つだけの作品が完成しました

## 学園総合

## 学園資料展示室について

2021年夏に行われた武蔵野東小学校東館のリノベーションに伴い、これまで2階にあった学園資料展示室及び倉庫が新たに小学校英語室として生まれ変わりました。これまで保管されていた資料については今一度学園内で取り扱いについて確認し、それぞれ適切な場所にて保管を続けます。それらの資料展示については形式と場所を変え、皆様にお披露目できるような企画を検討してまいります。



北原勝平先生、キヨ先生の胸像を事務局ロビーに移設

## 寄贈者お名前 (2021年2月26日～9月16日)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ※ 絵画 1点、地球儀 1台        | 【武井謙次様】               |
| ※ 大型加湿器 1台            | 【2020年度 幼稚園卒業生一同様】    |
| ※ 大型壁掛け時計 1台、電波時計 1台  | 【2020年度 小学校卒業生一同様】    |
| ※ 液晶テレビ 5台、プロジェクター 2台 | 【2020年度 高等専修学校卒業生一同様】 |

## 寄付金申込者お名前 (2021年2月26日～9月16日)

石井久美子様、榎本勝治様、木下敦子様、津久井竜一様、計野ちあき様、福田保人様、湯本智史様、龍治史子様、Jason Xi様、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社様、国際ソロプチミスト武蔵野様、株式会社テヅカ様、株式会社すまいの住空間様、

2020年度 小学校卒業生一同様、2020年度 中学校卒業生一同様、母親体操クラブ様、匿名1名様

## 武蔵野東学園をご支援くださる皆様へ

武蔵野東学園では、「混合教育」・「生活療法」の更なる充実のために、皆様からのご篤志を随時受け賜っております。学園の実践する様々な教育活動、教育機器・設備ならびに施設の向上や奨学金制度の拡充などに活用させていただきます。ご支援のほどお願い申し上げます。

## 用途を指定してのご寄付について

学園の教育振興のための一般寄付のほか、幼稚園、小学校、中学校、高等専修学校、教育センター、山梨友愛寮・チロル学園や奨学金制度へのご寄付など、用途を指定したご寄付も受け賜ります。

## 税法上の優遇措置について

## ・個人の場合

個人の方からのご寄付につきましては、寄付金控除を受けることができます。

控除には「税額控除」・「所得控除」の2種類があり、確定申告時にお選びいただくことが可能です。

## ・法人の場合

法人様からのご寄付につきましては、寄付金額を当該事業年度の損金に算入することができます。

ご寄付の手続きによって、損金算入の額が異なります。

①「受配者指定寄付金」としてのご寄付 → 寄付金全額を損金算入できます。

②「特定公益増進法人に対する寄付金」としてのご寄付 → 寄付金の一定限度額まで損金算入できます。

資料請求・お問い合わせの方は、事務局企画広報室(TEL:0422-52-2211)までお願いいたします。

## 幼稚園

## 募集などのお知らせ

【健常見対象】自閉症児に関しては、武蔵野東第二幼稚園へお問い合わせください。

オンライン園児募集説明会	10月 2日(土)	オンラインツールZoomにて
第1回園児募集説明会	10月 9日(土)	9時30分～10時30分 第二幼稚園にて
第2回園児募集説明会	10月 9日(土)	11時～12時 第二幼稚園にて
第3回園児募集説明会	10月13日(水)	14時30分～15時30分 第二幼稚園にて
願書受付	11月 1日(月)	インターネット出願
入園面接	11月 1日(月)	武蔵野東第二幼稚園にて

\*いずれも幼稚園ホームページよりお申込みください。

\*その他、詳細や未就園児対象行事については幼稚園ホームページをご覧ください。

## 小学校

【健常見対象】 自閉症児に関しては、お問い合わせください

第3回入試説明会	10月 1日(金)	10時～12時	Web申し込み
第2回土曜親子見学会	10月 9日(土)	10時～11時30分	Web申し込み
わくわくスクール	11月 6日(土)	10時～11時	Web申し込み(年中児対象)
入学試験 第1回	11月 3日(水・祝)、4日(木)	よりいずれかを選択	
入学試験 第2回	11月20日(土)		

## 中学校

【健常見対象】 自閉症児に関しては、お問い合わせください

学校説明会(保護者対象)	10月16日(土)、11月20日(土)、12月4日(土)、11日(土)、1月8日(土)
オープンスクール(外部小学5～6年生対象)	10月16日(土)、11月20日(土)
入試対策講座	12月 4日(土)、11日(土)、1月8日(土)

\*すべてWebページにて事前の申し込みが必要です

\*2022年度入試要項はWebページに掲載しています

## 高等専修学校

総合キャリア学科(絵画,陶芸,体育,調理・製菓,ファッション,情報ビジネスの専門6コースから、半期ごとに1コースを選択)

学校説明会 第1回	10月16日(土)10時～11時30分
第2回	11月20日(土)10時～11時30分
第3回	12月11日(土)10時～11時30分

1日体験入学(中学校3年生対象) 10月3日10時～、10月23日10時～、11月6日10時～、11月27日10時～、12月4日13時30分～、12月25日10時～、1月7日13時30分～

\*申し込み等詳細については、Webページでご確認ください

## 教育センター

下記ご希望の方は、教育センターへお問い合わせください(TEL0422-53-8585)

療育プログラム ※随時募集していますので、ご連絡ください

季節特別プログラム(サマープログラムは終了しています)

ウィンタープログラム 対象:年中児～中学生 実施日:12月26日～12月28日(3日間)

スプリングプログラム 対象:年中児～小4年 実施日:3月29日～4月 2日(5日間)

保護者・支援者向けセミナー ①11月19日 ②2月 3日

教員見学説明会 ①11月 6日 ②1月29日